

書籍『人がうごく コンテンツのつくり方』著者略歴

<著者略歴>

高瀬 敦也(たかせ・あつや)

コンテンツプロデューサー。株式会社ジェネレートワン代表取締役 CEO。

大学在学中、渋谷でレストランバーを開業。1998年フジテレビ入社、営業局にてスポットセールスプランニングに従事。その後、編成制作局にてバラエティーやアニメの企画・プロデュースを行う。自ら企画立案しプロデュースしていくことを信条とし、「逃走中」「戦闘中」「ヌメロン」など企画性の高い番組を多数企画。

「逃走中」「戦闘中」ではニンテンドー3DSのゲームもプロデュースし、シリーズ累計100万本を超えるセールスを達成。「ヌメロン」ではスマートフォンの普及を見越し、アプリ化を前提とした企画としてゲーム内容からデザイン。「ヌメロンアプリ」は350万ダウンロードを記録。また、深夜アニメブランド「ノイタミナ」の立ち上げに関わり、「ノイタミナ」を命名、他多数のアニメ番組をプロデュース。

常にマネタイズを意識した企画立案と、独自の世界観を創りあげることが得意とし、ブランディングに強いこだわりをもって行うコンテンツプロデュースは、テレビ業界内外で注目される。他、プロデュース番組は「有吉の夏休み」「世界行ってみたらホントはこんなトコだった!?!」「もろもろのハナシ」「キカナイト」「容疑者は8人の人気芸人」「のだめカンタービレ」「ハチミツとクローバー」「墓場鬼太郎」「モノノ怪」「ゲゲゲの鬼太郎」「金色のガッシュベル!!」など。また、DJ活動も行い、主宰を務めた「Orange」「CSH4」などのイベントは当時一般的ではなかった“日曜午後のクラブパーティー”というコンセプトを広めることに貢献。自身もソロアルバム(CD)を全国リリースした他、世界最大のオンラインダンスミュージックストア「Beatport」において「Lemon Heart and the Tokyo Syndrome」がTech Houseチャート12位を記録するなど6タイトルがワールドチャートイン。フジテレビ退社後、音声と写真のコンテンツプラットフォームアプリ「hearr」の企画・プロデュース、スマホ向け動画、ライブコマース事業の企画・プロデュースなど、IT分野でも精力的に活動。

また、マンガ原作・脚本制作、アイドルグループ、アパレルブランドのプロデュースを手掛けるほか、様々な業種の新事業企画、新商品企画、広告プロモーション戦略立案など、幅広いコンテンツプロデュース・コンサルティングを行っている。